

ドキュメンタリーDVD上映会 & 講演と意見交換会

おきなわから広げよう～ともに生きる学校・ともに生きる社会～

風よ吹け! 未来はここに!!

2018.

8/18

土曜日

開場13:30

14:00-16:00

人工呼吸器をつけて地域で生きる
ともに生きる力を育もう

人工呼吸器をつけて暮らす子どもたちがいます。
保育園に通う環くん。小学校に通う康裕くんと綾乃さん。
大人になって自立生活をしている歩さん、彩さん、涼さん。
子どもたちの思いはいつの時代も同じです。

「学校が好き、友達が好き」「友だちと一緒に遊びたい」
「友だちと一緒に学校に通いたい」いつも人工呼吸器を携えて、
自らの人生を楽しむ子どもたちの姿を知って下さい。



場所

沖縄小児保健センター 3階ホール

沖縄県島尻郡南風原町字新川218-11

対象者

教育、医療、福祉関係者、当事者の方、どなたでも参加できます

参加費

無料 ※無料駐車場あり (60台)

定員

80名 ※お子様も入場できます

※裏面の申込書にて事前にお申し込み下さい

主催 バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる～

後援 おきなわ医療的ケアネットワーク

助成 タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2016

風よ吹け! 未来はここに!!

プログラム

- 13:30～ 開場
 14:00～14:03 オープニングセレモニー
 ～伊波柗人さんによる和太鼓演奏～
 14:03～14:05 開会の挨拶
 14:05～15:05 DVD上映会 ～風よ吹け! 未来はここに!!～
 15:05～15:15 休憩
 15:15～15:35 講演 ～もっと広がれ友達の輪～
 講師 湯地三代子さん
 15:35～15:55 意見交換会
 15:55～16:00 閉会の挨拶



山田真さん (小児科医)

このDVDは、周りの沢山の人の協力を得ながら未来を切り開いてきた「呼吸器をつけた子どもたち」の記録です。「それは無理」と決めつけないで「工夫をすれば可能ではないか」と考えて試してみると、無茶と思えたことでも実現するのです。そんなことを教えてくれるこの記録は、健全な人にも力を与えてくれるはずです。またすべての人に生きることを意味を考えなおさせてくれる契機となる記録でもあると思ひ強く推薦します。

宍戸大裕さん (映像作家)

「できない」と「あきらめ」ばかりの世界より、「やってみよう」がたくさんある世界の方が、きっとずっとおもしろい。勇気ある人が、風を起こす。狭苦しい「あたりまえ」を、おきな「あたりまえ」に広げていく。風よ吹け! どんどん吹け。世界はもっと、豊かになれる。

秋葉忠利さん (前広島市長)

「バクバクっ子の日常生活」に触れることで私たちの世界が広がり、「家族」「友だち」「学校」「自立」をキーワードにして、「インクルーシブな社会」が目前に見えてきます。それが明日へのエネルギーになります。

大橋グレース愛喜恵 (自立生活夢塾センター)

「人工呼吸器をつけて暮らしている人」と聞いて、どのようなイメージをもっているだろうか? 死にかけている人? 病院生活している人? そもそも、人工呼吸器をつけて生活している人を見たことがない。そんな人達に言いたい。是非この映画をみて欲しい! 出演者一人ひとりの風が人と人をつなげてあなたの世界も変えてくれる。子どもでも自分のことのように感じられる映画! きっと、この映画を見た次の日からあなたが当たり前だと思っていたことが変わるはず!

川口有美子さん (NPO法人ALS/MNDサポートセンター さくら会)

変するために授かった。喜ぶために生まれてきた。それは疑いもないことなだけだ。大人こそが超未熟なので、産むことにも、育てることに、迷いが生まれてしまう。「でも、それは仕方ないことかもね。最初はそれでいいんだよ」って、バクバクの会の先輩たちは言ってます。「一緒にチャレンジしようよ。世界は面白いことばかりだよ」って。何とまあ、型破りで豪快な先輩たちではありませんか。きっと、このDVDを通して、あなたにも、大切なことを教えてくれるでしょう。

山崎正策さん (社会福祉法人びわこ学園 理事長)

このDVDは、小さな子ども達や重い障害児たちが、周りの社会から積極的に関わってもらうことで、彼らが成長発達してきたことを証明している映画です。またこのような関わりが、彼ら自身が生きる力を発揮するエネルギーにもなっています。子育て中のお父さんお母さん、学校の先生方、障害者支援に係る方々にぜひ見てほしい映画です。

野田聖子さん (衆議院議員)

私の息子もバクバク族の一員です。人工呼吸器やカニューレは、彼の命のシンボルです。かっこいい。医療的ケア児がようやく法律に入り、しっかりと存在が認められました。これからは、私達の愛と勇気の見せどころ。バクバクの会、ファイト!



講師プロフィール

湯地駿羽(はやと)さんとお母さんの三代子さん

宮崎県出身、3人家族。駿羽は、平成17年8月18日に生まれて、生後1ヶ月半の時に人工呼吸器をつける。鹿児島県内の病院を数回、転院しながら2年半の入院生活と母1人での在宅介護生活を経験して、平成20年4月に沖縄へ移住。母の三代子は、平成22年1月、沖縄県内に住む医療的ケアの必要な子どもの親の会「らいおんはぁ〜と」を設立して代表を務める。



駿羽は、平成23年4月に那覇市立高良幼稚園に入園し、翌年に那覇市立高良小学校に入学(沖縄県内では初めての事例)。平成30年4月、那覇市立小祿中学校の1年生になった駿羽と母の三代子は共に学校に通いながら、現在は、家族3人で充実した在宅生活を過ごしている。

お申し込み先 FAX. 098-983-4753

【お申し込み/お問い合わせ】

バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる～ 沖縄支部

NPO法人障がい児サポートハウスOhana (オハナ) 内 担当: 砂川・山村

[TEL] 098-939-2411 [FAX] 098-983-4753 [E-mail] ohana@waltz.ocn.ne.jp

FAX用 お申込書	代表者のお名前(ふりがな)	参加人数	名
住所(〒)	—	E-Mail	
電話番号		FAX番号	
所属(○をつけてください) 当事者・家族・保育・教育・医療・保健・福祉関係・学生・その他 所属名(あれば)			
《必要とする配慮事項など》 該当する項目がありましたら、○で囲んでください。			
1、車いすの使用と介助者の同行について			
・車いすの使用 (車いす ・ ストレッチャー式車いす)			
・電源使用 (あり ・ なし)			
・介助者の同行 (名)			
2、その他			
※託児(見守り)を希望される方はご相談下さい。			

※「個人情報保護に関する確認事項」申込書にご記入頂いた個人情報は、参加人数の把握及び内容変更・中止等のご連絡が目的であり、ご記入頂いた情報は第三者に提供することはありません。